

平成 22 年度広島県大学図書館協議会事業報告

会議

1. 平成 22 年度総会
日時・会場：6 月 30 日 広島工業大学 Nexus21 スカイテリア
講演：「瀬戸内海の環境再生と環境資源の継続に向けた活動」
講師：上嶋 英機（広島工業大学工学部教授）
参加：25 機関 44 名
2. 幹事館連絡会議 第 1 回 5 月 28 日
3. 研修企画委員会 第 1 回 5 月 28 日
4. 共同リポジトリ委員会 第 1 回 3 月 2 日
5. 広島県内図書館連絡会議 第 1 回 12 月 15 日

研修会

第 1 回

日時・会場： 9 月 24 日 広島経済大学メディアセンター
テーマ：「機関リポジトリ入門」
講演：「研究者・リポジトリ担当者として考えること」森岡信幸（広島大学）
講義：「機関リポジトリとは」松下真紀子（広島市立大学）
「共同リポジトリと HARP」渡辺さゆり（日本赤十字広島看護大学）
「CSI と HARP」岡田浩典（広島経済大学）
「コンテンツと著作権」濱知美（広島大学）
報告：「尾道大学のコンテンツ収集」渡邊徹（尾道大学）
実習：「メタデータ解説と登録実習」森保信吾（広島工業大学）
参加：18 機関 37 名

第 2 回

日時・会場： 9 月 29 日 広島県情報プラザ第一研修室
共催：広島県公共図書館協会
講演：「本の学校への道」永井伸和（今井書店グループ会長）
参加：14 機関 29 名（公共図書館協会は除く）

第 3 回（デジタルリポジトリ連合への協賛）

日時・会場： 11 月 19 日 広島経済大学立町キャンパス 132 教室
テーマ：「様々な視点から機関リポジトリを捉える」（DRF 地域ワークショップ広島）
参加：23 機関 38 名

第 4 回

日時・会場： 12 月 3 日 広島市立大学 交流ラウンジ
テーマ：図書館の学習支援機能の強化について
講演：「図書館の学習支援機能の強化について」中林雅士（明治大学図書館）
報告：高橋弘子（広島大学）・津原有美子（広島修道大学）
参加：17 機関 36 名

事業

1. ホームページの運営
2. 共同リポジトリの運営・充実・稼働

平成 22 年度広島県大学図書館協議会総会議事まとめ

日 時：平成 22 年 6 月 30 日（水） 13：30～17：00
会 場：広島工業大学 Nexus21 スカイテリア
参 加：25 大学 44 名

1. 開会 当番館 広島工業大学
2. 挨拶 当番館 広島工業大学館長 景山 三平
代表幹事館 広島大学図書館長 佐藤 正樹
3. 講演 講師 上嶋 英樹
演題 瀬戸内海の環境再生と環境資源の継続に向けた活動
4. 議長選出 慣例により、当番館である広島工業大学図書館の景山館長を選出した。

議事に先立ち、参加者全員の自己紹介を行った。

5. 協議

議事日程を変更し、協議題(1)および(2)について協議した。

(1) 広島文化学園短期大学の退会について

代表幹事館広島大学の藤井氏から広島文化学園短期大学が広島文化学園大学と組織上統合することによる退会が提案された。会則に退会の規定はないが、入会が総会の承認を得ることとなっており、これに準じて退会についても総会に諮ったとの説明があった。提案どおり異議なく承認された。

(2) 広島都市学園大学の加盟について

代表幹事館広島大学の藤井氏から広島都市学園大学の入会が提案された。広島都市学園大学からの加盟申請が提出されている旨の説明と、広島修道大学から推薦の発言があり、加盟について異議なく承認された。

承認後広島都市学園大学の瀬野尾図書館長から挨拶があった。

6. 報告

(1) 平成 21 年度事業について

代表幹事館広島大学の石井副館長から平成 21 年度の事業として総会、各委員会等の開催、研修会、創立 40 周年記念祝賀会等について報告があった。

(2) 平成 21 年度決算及び監査報告について

代表幹事館広島大学の広島大学図書館学術情報企画グループの尾崎氏から平成 21 年度の決算報告が行なわれたのち、近畿大学工学部の林田氏から監査報告があり、異議なく承認された。

(3) 平成 21 年度共同リポジトリ委員会の報告について

共同リポジトリ委員会の西川委員長から、平成 21 年度の共同リポジトリ委員会報告があった。また、HARP の活動と CSI 委託事業についても報告された。

(4) 平成 21 年度広島県内図書館連絡会議について

委員館である県立広島大学の矢山氏から平成 21 年 12 月 15 日に県立図書館で開催された会義の概要が報告された。

(5) その他（連絡事項）

広島大学の石井副館長から、新聞所蔵状況調査について県立図書館長から県大図協宛てに協力依頼があり、後日事務局から関連資料を送付する旨の連絡があった。

7. 協議（続き）

(3) 平成 22 年度事業計画について

代表幹事館広島大学の石井副館長から平成 22 年度の事業計画案が提案され、異議なく承認された。

- (4) 平成 22 年度予算について
代表幹事館広島大学の尾崎氏から平成 22 年度予算案が提案され、原案通り異議なく承認された。
- (5) 共同リポジトリ委員会内規の制定について
代表幹事館広島大学の石井副館長から、平成 19 年 7 月 5 日実施の委員会内規が提案された。リポジトリ委員会の西川委員長から、早くに内規案を作成していたが、直近の総会で承認を得ていなかったとの説明があった。協議の結果、異議なく承認された。
- (6) 平成 22-23 年度幹事館の選出について
任期終了により、会則第 6 条による選挙を行い、次時期幹事館として広島大学、県立広島大学、広島経済大学、広島工業大学、広島修道大学、山陽女子短期大学を選出した。
- (7) 平成 22-23 年度代表幹事館の選出について
広島経済大学の岡田氏から広島大学を代表幹事館として推薦するとの提案があり意義なく承認された。これを受けて広島大学の佐藤館長から挨拶があった。
- (8) 平成 22 年度監査館ほかの選出について
幹事館連絡会議からの推薦により以下のとおり提案され、異議なく承認された。
[平成 22 年度監査館]
海上保安大学校
[平成 22-23 年度研修企画委員]
広島大学、広島市立大学、日本赤十字広島看護大学(委員館長)、広島経済大学、広島修道大学、比治山大学、広島工業大学、山陽女子短期大学
[平成 22 年度広島県内図書館連絡会議委員館]
県立広島大学、広島経済大学、広島修道大学
- (9) 次期開催館について
代表幹事館広島大学の藤井氏から、平成 23 年度総会の開催館として、当番にあたる広島女学院大学が提案され、異議なく承認された。これを受けて広島女学院大学の野村氏から挨拶があった。

8. 承合事項

- (1) 学生希望図書におけるライトノベルズ等(マンガも含む)の扱いについて(広島修道大学提出)
広島修道大学の常広氏から、提出趣旨についての説明と回答に対するお礼があった。
- (2) E-book の導入について (広島市立大学提出)
広島市立大学の渡辺氏から、提出趣旨について説明と回答に対するお礼があった。
また、広島市立大学の渡辺氏から広島大学に対して、専門分野について金額の問題が出ると思うが、要望があれば即買うということになるのか、との追加質問が出された。これに対し広島大学から、昨年度は臨時の予算がとれたのでネット Library 経由で利用する朝倉書店などの学習書や医学系教科書(英語)などの E-Book について先行的に導入したが OPAC との連動などまだこれからで、本格的な運用まではいっていないとの回答があった。
- (1) EJ・DB のウォークインユーザの受入について (広島市立大学提出)
広島市立大学 渡辺氏から、提出趣旨について説明と回答に対するお礼があった。
また、広島市立大学の渡辺氏から広島大学に対して、どのようなユーザーが来ているか、また認証はどのように行っているかについて追加質問があった。これに対し広島大学からは今はデータがないので詳細は答えられないが、数は多くなく、認証部分は今後の課題であるとの回答があった。

9. 閉会

幹事館の広島修道大学森川館長から閉会の挨拶があり、閉会した。

閉会后、希望者に対し Nexus21 の見学会があった。

広島県大学図書館協議会 平成22年度決算書(案)

1 一般会計

収入の部

科目	予算額(円)	決算額(円)	備考
前年度繰越額	253,560	253,560	
会費(平成22年度)	253,500	263,500	内訳別紙のとおり
預金利子	67	43	
合計	507,127	517,103	

支出の部

科目	予算額(円)	決算額(円)	備考	
A. 事業費	1. 総会費	40,000	40,000	会場費(広島工業大学)、講演謝金
	2. 役員会議費	5,000	1,900	お茶(幹事館連絡会議・研修企画委員会)
	3. 研修会費	160,000	152,780	別紙明細のとおり
	4. HARP補助金	30,000	30,000	
	小計	235,000	224,680	
B. 事務費	1. 通信費	5,000	2,292	会費請求書送付代
	2. 消耗品費	10,000	0	
	3. 雑費	10,000	630	送金手数料(広島都市学園大学)
	小計	25,000	2,922	
C. 予備費	247,127	0		
D. 翌年度繰越額	0	289,501		
合計	507,127	517,103		

2 臨時事業費(JLA会費還付金の積立)

収入の部

科目	予算額(円)	決算額(円)	備考
前年度繰越額	474,056	474,056	
JLA還付金	31,150	30,250	
預金利子	172	83	
合計	505,378	504,389	

支出の部

科目	予算額(円)	決算額(円)	備考
予備費	505,378	0	
翌年度繰越額	0	504,389	
合計	505,378	504,389	

3 共同リポジトリ事業費

収入の部

科目	予算額(円)	決算額(円)	備考
前年度繰越額	244,510	244,510	
会費(平成22年度)	360,000	390,000	内訳別紙のとおり
協議会よりの補助金	30,000	30,000	
預金利子	77	63	
合計	634,587	664,573	

支出の部

科目	予算額(円)	決算額(円)	備考
無停電電源装置	0	52,500	
サーバ保守費(平成22年度)	252,000	252,000	
振込手数料	840	1,680	
翌年度繰越額	381,747	358,393	
合計	634,587	664,573	

広島県大学図書館協議会 平成22年度決算書(案)
支出明細書

1 一般会計

A-3 研修会費

摘要	決算額(円)	備考
第2回研修会 講師旅費・謝金	67,100	永井伸和(今井書店)
第2回研修会 会議費	5,580	打合せ・交通費
第4回研修会 会場費	10,000	広島市立大学へ
第4回研修会 講師旅費・謝金	70,100	中林雅士(明治大学)
合計	152,780	

監査報告書

金銭出納簿、預金通帳及び関係書類を監査した結果、適正かつ正確であることを認めます。

平成 23 年 6 月 1 日

広島県大学図書館協議会

監査館 海上保安大学校図書館

館長

島田伸也



印

平成 22 年度広島県内図書館連絡会議事録

日時：平成 22 年 12 月 15 日（水）

15：00～16：30

場所：広島県立図書館応接室

1 開会

委員

広島経済大学図書館部長 西川英治

広島経済大学図書館次長 岡田浩典

広島修道大学図書館課長 吉村達裕

広島市立中央図書館課長補佐（事）館内サービス係長 出原陽子

福山市中央図書館司書 前原有美子

広島県立図書館主任専門員 谷崎薫

オブザーバー

広島県立図書館長 内田健二

事務局

広島県大学図書館図書学術情報普及グループリーダー 江森早穂

広島県大学図書館図書学術情報企画グループ主査 尾崎文代

広島県立図書館副館長 黒川隆久

広島県立図書館総務課長 松本雅之

広島県立書館事業課長 鍛冶美和子

広島県立図書館事業課専門員 正井さゆり

2 議 題

(1) 大学図書館等と公共図書館の連携について

県立図書館（県図）：本年度の大学図書館と公共図書館共催の講演会開催の報告。ネットワーク協議機構の会議での連携事例の報告。具体的な 1 冊を指定して借りるより、実際に大学図書館に行ってみた方がよいのではないかという意見もあった。

福山市中央図書館（福山）：福山市ではネットワークの事例はなし。以前、ネットワークを検討したが、物流の問題で計画はストップしている。

広島大学（広大）：広島大学と広島市立大学、広島市立図書館の間では物流ルートが確立している。展示、講演会などの協力事例がある。

広島経済大学（広経）：広島経済大学では、公共図書館との連携ではなく、直接のやり取りが多い。蔵書データを来いぶらりネットに提供している。

広島修道大学（修道）：公共図書館との連携はない。大学図書館の一般利用者は年間 2,000 人弱。学生の資格試験に必要な本は貸し出せない。

広島市立図書館（広図）：平成 22 年 3 月に広島大学図書館と交換研修を行った。2 日間お互いの図書館で実習。大学図書館では専門資料や ILL，有料データベース，電子ジャーナルなどを閲覧。市立図書館では公共図書館の日常業務と市民の声への対応を体験。ほかに講演会，広島ゆかりの児童文学者の展示等で連携した。平素の利用者層との違いがあり，利用者層の拡大に有効だった。

広経：福山での物流の問題とはどのようなことか？

福山：大学図書館と連携を図ったが，物流ルートの確立や予算等の問題があり，決定にいたらなかった。講演会を 2 回実施。現在は相互貸借のみの協力となっている。

広経：物流トラックが巡回しないと，資料はなかなか流れないということか。

福山：本庁便は中央館と遠隔地を回るのが精一杯。土日祝日は職員が回っている。大学をコースに入れるのは難しい。

広大：広大便は現在，週 1 回で回数を増やすのは検討中の段階。コースは広島大学図書館中央館だけだったものを東館西館にも拡大した。

広経：県立図書館の県内図書館への便はどうしているのか？

県図：現状は片道負担でお願いしている。

広経：受益者負担の考え方か。大学生も公共図書館を利用している。

福山：大学は不便な場所にあるので，高齢者等利用が難しい場合，職員が大学まで出向いている。

広図：利用者としては，大学図書館は敷居が高いので，まず中央図書館で相談してから申込みをされる方が多い。

広大：一般の人は大学図書館が利用できることを余り知らない。

福山：大学が公共図書館から借りたいと思うことはあるのか？

広経：大学に取り寄せるくらいなら，直接行くように学生に指導している。

修道：実用書，入門書の需要が多い。専門書は少ない。やわらかい本やマンガ等，公共図書館を案内する。大学図書館では購入しにくい。

福山：公共図書館には郷土資料があるのでよいと大学図書館から言われる。

広経：大学の課題で広島のことを調べさせる際に，公共図書館の資料が有効だ。実際にはインターネットで調べて済ませる学生も多い。

広図：福山市は，物流システムが整えば連携がしやすくなるだろうか？

福山：検討していた数年前に比べて，今はどのくらい需要があるのか分からない。コレクションの交換や講師派遣などの方がよいのではないか。連絡会も行わなくなっている。

修道：昨年度島根であった大学図書館研究会で鳥取大学の事例を聞いた。連携できるところは既に実施している。ネットワークには余り執着しなくてもよいのではないか。物流が必要なところは既につながっている。

福山：努力してもどれほどのニーズがあるのか分からない。

広経：ネットワークはあった方が形は良いが，実際利用はどうか？

修道：人が動けば済む範囲なら，個人で図書館に行くように言う。

広大：広島大学は、広島市立図書館から遠いので巡回便がある。行ける距離ではない。利用件数は安定している。

広経：仕掛けがあればニーズも生まれるということか。

県図：個人で申し込むと受益者に負担がかかるので、定期便があるところに依頼するようになる。

広大：学部間は毎日、公共図書館とは週1回の便があり、利用者のニーズは満たしていると考えている。

県図：県内図書館との物流については検討中。予算の話もあるので、後述する。

広経：ネットワークデータシステムについて、負担なしで、お互いの館のデータが取れるようにすることができるのか。

県図：横断検索でデータベースを見に行く仕組み。県内の2町図書館以外は全て入っている。導入費用は数十万から数百万と開きがある。大学からの加入が初期費用がなくても済むように検討していたが、実現できなかった。

修道：加入は検討してみる。

県図：大学に加入のお願いをする必要があると認識している。データ掲載条件を提案させていただく。

県図：鳥取大学の事例については、市内中心部でロケーションが良く、地域的特性を生かしている。広島大学ー広島市立図書館間よりも近い。広島では人の交流、つまり講演会やデータのやり取りなどができるのでは。

広経：県立大学が来いぶらりネットに加入していない。

修大：公共図書館同士はつながりがあるが、大学は個別で動いている。協力し合っていくことが大事。

広図：システムの更新は平均5年おき。その機会ごとに導入するようにはどうか。

(2) その他

県図（館長）：事業仕分けの経緯について説明

修道：大学生が読みたがるものを公共図書館で賄うことができれば、その費用をほかに生かせる。また、大学図書館で眠っている資料を公共図書館で活用できる。

県図：物流については、宅配で送る方法でよいか。

広大：ILLと同じ方法が良い。宅配が増えると手続が煩雑になる。広島市のような便が使えるとよい。

県図：ILLは、システムが違う。図書館によって利用手続等事情が違うようなので、物流については、個別に相談する。

県図：来いぶらりネットの更新後の使い勝手について御意見があれば、教えてほしい。

（特になし）

県図：県内大学図書館の一般公開の状況を、来いぶらりネットで情報提供してもよいか？

広経：公開されている情報なので、問題ない。

平成 22 年度共同リポジトリ委員会報告

1. 委員会の開催

第 1 回委員会 平成 23 年 3 月 2 日（広島経済大学図書館）14 大学 28 名参加
議事：

- 報告
- 平成 22 年度事業について
 - 学生アルバイト 2 名を採用、コンテンツ収集・電子化・メタデータ作成。
 - UPS(無停電電源装置)の更新（11 月）
 - 呉高専の正式加入（12 月）
 - 研修会・サポート（9-3 月 8 回）
 - 発表（DRF/ShaRe ワークショップで 2 回）
 - 平成 22 年度会計報告について
 - 平成 22 年度 CSI 委託事業報告書について
 - コンテンツ登録数 1,613 件（目標の 9 割）であった
 - 委託事業費 110 万円のうち、24 万円余り未執行となった。

- 協議
- 平成 23 年度事業計画（案）について
平成 23 年度も引き続き勉強会を開催する事とし、具体案は研修企画委員会との絡みもあるので、後日決定する事にした。
 - 平成 23 年度予算について
サーバのリニューアルについて協議したが、現在のサーバで十分であるとの事で、参加費からの積み立てを続けることとした。
 - 平成 23-24 年度 CSI 委託事業作業計画（案）について
平成 22 年度事業費を残した事で、CSI 委託事業の継続について協議し、新規参加館の遡及に委託事業費が有効な事、参加館にとってもコンテンツ収集の動機づけに有効であることから次年度以降も申請する事となった。
 - 委員館の改選について
委員館の改選を行い、次の通り新役員を選出した。
尾道大学、日本赤十字広島看護大学、比治山大学、広島文教女子大学(以上新任)、
広島大学、広島経済大学(委員長館)（以上、再任）

委員会終了後、HARP 勉強会を開催。

2. その他

- 勉強会の開催
9 月に県大図協第 1 回研修会「機関リポジトリ入門」を開催した。